

第3学年1組 図画工作科学習指導案

1 題材名 ビフォーアフター 匠のワザ A表現(1) 造形遊び

2. 題材設定の理由

- 本学級の児童は、図画工作科の学習を楽しみにしており、1学期の学習の様子を見ると、どの題材にも意欲的に取り組み、楽しく活動していた。図画工作科学習についての意識調査では、29人中27人が図画工作科の学習を好きと答えている。その理由として「楽しい。いろいろつくれる。」「自分の好きなようにつくれる。」「想像してつくるのが好き。」など自分でつくり上げていく楽しさについての意見が多くあげられた。造形遊びに関しては、1年生の時に大きな紙を体に巻きつけたり、さいたり、ねじったり、つないだりと手触りを楽しみながら、身体全体をつかって活動した。2年生の時は、ペットボトルのキャップを友達と協力して廊下いっばいに並べる活動を行い、並べていくうちに思いが広がっていく楽しさを味わった。どちらも材料の特徴やよさを生かして楽しく学習することはできたが、場のよさを生かしたり、働きかけて活動したりするところまでにはいたっていない。そこで、図書館という身近な場所を活動の場として思い付きを広げるようにする。そして、新聞紙や広告紙の手触りを感じたり、いつもとは違う場所で活動したりすることで表現意欲をかき立てるようにする。1, 2年生で培った力を生かし、ダイナミックにのびのびと表現する快さや一人一人が思い付いたことを出し合い、発想を刺激し合いながら、グループで造形遊びを行う楽しさを十分に味わわせたいと考える。
- 本題材では、身近な新聞紙や広告紙という材料をもとに造形遊びをする。細長い紙の特徴や、図書館という場所の特徴を生かして、紙の切り方やつなぎ方を試したり、見つけたりしながらたくさんの細長い紙で楽しく遊ぶ活動である。そこで、細長く切った紙をブラックボックスから出して見せ、私たちもつくってみたいという意欲付けをする。それらを通して、工夫して活動すること、また、友達と一緒に、材料や場所に働きかけ、楽しみながら活動し、空間のよさにこだわりながら自分らしい造形的な表現の追求と発見をすることをねらいとしている。いろいろな切り方で細長い紙をたくさんつくり、それらの長さや量、触り心地やにおいなど五感を働かせながら発想を広げ、思い付いた活動の楽しさを味わわせたいと考える。最後に自分たちの活動の場の変化(ビフォーとアフター)を写真でふりかえることで活動の楽しさや充実感を味わわせる。この題材は、中学校で学習する彫刻動物園の「材料の特徴を生かす」につながると考えられる。

3. 研究の着眼点

【視点1】題材設定や展開の仕方を工夫する視点から

「であう」の段階では、図書館で学習することを知らせ、「今日は何をするのだろう」という活動への関心をもたせる。そこで用意していたブラックボックスから、切り方の違う細長い紙を2種類提示し、「おもしろそう」「自分も作ってみたい」という意欲をかき立たせる。さらに「長い紙をつくる匠となって、図書館を変身させよう」と呼びかけ、児童の表現意欲を高める。

【視点2】言語活動の場や方法を工夫する視点から

「みつける・あらわす」の段階では、「パレットタイム」で一人一人が新聞紙や広告紙をできるだけ長く切ったり、早く切ったりさせて「どんな遊びができるか。」「そのために必要な道具は何か。」を話し合いの柱として、班毎に自由に話し合わせる。話し合うことで、遊びたいイメージを漠然ともたせる。また、グループでたくさんの細長い紙をつくり、紙をつなげたり、はったりする活動を通して、形や色、組み合わせなどの感じをとらえさせる。その中で、お互いに助け合ったり、アイ

デアを交流し合ったりしながら児童がいろいろと試みる中で発想が広がるようにする。

「あじわう」の段階では、活動の始めと終わりを写真でふり返り、自分や友達の活動に改めて目を向け言葉で交流し、互いのよさを認め合えるようにする。活動したことを思い出しながら、「こんな気持ちでつくった。」「ここは、こんなふう工夫した」などを伝えあい、友達の表現のよさやおもしろさを味わう。

4. 目標

造形への 関心・意欲・態度	○ 細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして遊ぶことを楽しもうとする。
発想や構想の能力	○ 細長い紙の量や感触、空間の特徴などから活動を思い付くことができる。
創造的な技能	○ 切る、つなげるなど、思いに合わせて用具を活用することができる。
鑑賞の能力	○ 自分や友達の活動のよさやおもしろさに気付き、認め合うことができる。

5. 指導計画と評価計画（総時数2時間）

	主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点 ◎言語活動	評価規準および評価方法
であう	1 細長い紙を使って表現活動をする。 〈本時1 / 2〉	○ ブラックボックスから細長い紙を出す。それらが1枚の紙からできているということを知り、興味を惹きつけて児童の表現の意欲付けをする。	【関】自分なりの方法で細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。 (行動観察・発言分析)
みつける・あらわす	2 自分の思いに合わせて、長い紙を使って様々な活動を楽しむ。 (1) 長い紙を使ってどんな遊びをしたいか一人一人のアイデアを出し合う。 (2) つくった長い紙や活動の場所から思い付いた遊びをする。	◎ 話し合いの柱に沿って、一人一人の思いつきやイメージを出し合う。 話し合いの観点 細長い紙をつかって 「どんな遊びができるか？」そのために「ひつような道具は何か」を示すようにする。 ○ はさみなどの用具を準備し、必要に応じて活用できるようにする。 ○ 用具は安全に気を付けて使うよう、指導を徹底する。また、用具の使い方を掲示しておくことで、いつでも見えるようにしておく。 ○ 活動で面白さや工夫が感じられる点を見つけて称賛し、活動が広がるようにする。 ◎ 友達と紙をつなげたり、はったり	【発】長い紙をたくさん集めたときの量や感触、また、空間の特徴などから活動を思い付いている。 (発言分析・行動観察) 【創】切る、つなげるなどの思いに合わせて、用具を活用している。 (行動観察・作品分析)

		<p>するなどの作業を共同で行う中で、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりして、活動を工夫できるようにする。</p> <p>○ 子どもたちの活動の様子をデジタルカメラで記録し、変化していく様子がわかるようにする</p>	
あ じ わ う	3. 写真と音楽で活動の様子を振り返る。	<p>○ 活動前の図書館と活動後の図書館の様子を写真で振り返る。「あらわす」の過程で、自分や友達の活動に改めて目を向け、互いの活動のよさを認め合うようにする。</p> <p>◎ 活動したことを思い出しながら、「こんな気持ちで作った。」「ここは、こんなふうに工夫した」など、発言したり、聞き合ったりして交流を深めるようにする。</p> <p>○ 十分に遊ばせた後は、自分たちの活動の足あとを写真に残し、使った新聞紙はきれいに片付ける。</p>	<p>【鑑】自分と友達の活動の共通点や違いを見つけたり、よさや面白さを認め合ったりしている。 (発言分析・鑑賞カード・ワークシート分析)</p>

6. 本時の学習 平成26年10月3日(金) 第5校時 図書室


(1) 主眼








細長い紙をたくさん作ったり、そのつなぎ方をためしたり、貼り付けたりする活動を通して、思い付いたことを自由に表現する楽しさを味わう造形活動をすることができるようにする。

(2) 準備

- ① 教師 新聞紙、広告紙、セロハンテープ、はさみ、ホッチキス、のり、デジカメ、モニター、CD、道具収納かご

(3) 展開

	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点【観点】評価規準(評価方法)
で あ う	<p>1. 長い紙のつくり方を見て、活動への意欲をもつ。</p> <p>おもしろそう。ぼくもやってみたい。</p>  <p>(1) 本時のめあてを知る。</p>	<p>○ ブラックボックスから2種類の長い紙を出し、これからする学習について関心をもつようにする。</p> <p>○ 2種類の切り方を提示し、「他にも細長い紙の切り方はないか」と呼びかけ、子どもの活動の意欲付けをする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 長〜い紙をたくさんつくって、つなぎ方を工夫して遊ぼう</div>	

み つ け る ・ あ ら わ す	<p>2. 長く切った紙や図書館という場を生かすことができるように協力し工夫してつくっていく。</p> <p>(1) 班毎に、どんな遊びをするか話し合う。</p> <p>長く切っかざりたい。</p>  <p>棚と棚をつなげたい。</p>  <p>どんどんつなげてクモの巣みたいにしてお遊びたい。</p>  <p>(1) 細長い紙をつくり、つなげる。</p> <p>長〜く切れたよ。</p>  <p>どうやってつなげればいいのか。</p>  <p>どんどんつなぐぞ。</p> 	<p>○ 「長い紙をつくる匠になって」と呼びかけ、子ども達の意欲を高めるようにする。</p> <p>◎ ワークシートを渡し、「どんな遊びをするか？」そのために「ひつような道具は何か」と、話し合いの観点を示すようにする。</p> <p>◎ 話し合いの柱に沿って、一人一人の思いつきやイメージを出し合う。</p> <p>○ はさみは安全に気を付けて使うよう、指導を徹底する。また、用具の使い方は、掲示していつでも見えるようにしておく。</p> <p>○ 教師は、それぞれの場所で、児童が思いついたことを自由に試みることができるように活動を見守り、それぞれの活動で面白さや工夫が感じられる点を見つけて称賛する。</p> <p>○ それぞれの場所でイメージを広げていけるように、児童との対話を通して、こだわっている表現を見つけ出してその思いを広げていけるように言葉かけをする。</p> <p>【発】長い紙をたくさん集めたときの量や感触、また、図書館の特徴などから活動を思いついている。 (発言分析・行動観察)</p> <p>◆ 活動に消極的な児童には、友達と協力しながら活動するように声かけすることで、発想を広げ、友達のよさにも気付くようにする。</p> <p>○ 子どもたちの活動の様子をデジタルカメラで記録し、変化していく様子が見えるようにする。</p> <p>【創】切る、つなげるなどの思いに合わせて、用具を活用している。 (行動観察・作品分析)</p>
あ じ わ う	<p>3. 写真を見ながら活動の様子を振り返る。</p> <p>すごい！新聞紙だらけだ。</p> 	<p>○ 活動の始めと終わりを写真にて振り返ることにより、自分や友達の活動に改めて目を向け、互いの活動のよさを認め合えるようにする。また、次時への意欲を高める。</p>

ご指導よろしくお願いたします。